

ディプロマ・ポリシーに掲げる身に付ける能力

● 基盤的能力

研究遂行に必要な最先端の創薬・製剤工学に関する幅広い学識と総合的な判断力を身に付けている。

■ 専門的学識

創薬・製剤工学関連領域で自立して研究活動を行う教育研究者、高度な業務に従事する専門職業人として必要な専門知識、技術を身に付けている。

◆ 倫理観

研究倫理や関連する法令の規範意識及び人間尊重の精神を身に付けている。

★ 創造力

創薬・製剤工学関連領域における背景を理解した上で解決すべき課題を設定し、専門知識、技術を統合、応用して創造性の高い研究を遂行し、課題を解決する能力、並びに研究成果の学術的、社会的意義を説明、議論し、国際社会に発信できる能力を身に付けている。

配当年次 授業形態

講義・演習・実習

博士後期課程	3年次	第4ターム	[10単位 必修]	[2単位 必修]	博士論文作成
		第3ターム			
		第2ターム			
	2年次	第4ターム	創薬・製剤工学プログラム 専門科目 ・創薬・製剤工学特別研究	創薬・製剤工学プログラム 専門科目 ・創薬・製剤工学特別演習	[2単位 必修] 大学院共通科目 ・学際融合発表演習 I ・学際融合発表演習 II
		第3ターム			
		第2ターム			
		第1ターム			
	1年次	第4ターム			[1単位 必修] 学環共通科目 ・先端研究企画演習
		第3ターム			
		第2ターム			
		第1ターム			

修了要件: 16単位以上修得及び博士論文試験・審査に合格

ディプロマ・ポリシーに
掲げる身に付ける能力

● 基盤的能力

研究遂行に必要な応用和漢医薬学関連領域の幅広い豊かな学識と総合的な判断力を身に付けている。

■ 専門的学識

応用和漢医薬学関連領域の発展に寄与する自立して研究活動を行う教育研究者、高度に専門的な業務に従事する高度専門職業人として必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識、技術、態度を身に付けている。

◆ 倫理観

教育研究者又は高度専門職業人として活動する上で必要な研究倫理や関連する法令の規範意識及び人間尊重の精神を身に付けている。

★ 創造力

幅広い専門知識、高度な技術を統合、応用して創造性の高い研究を遂行し、課題を解決する能力、研究成果の意義を説明、議論し国際社会に発信できる能力、及び豊かな学識を身に付けている。

配当年次 授業形態

講義・演習・実習

博士 後期 課程	3年次	第4ターム	[10単位 必修]	[2単位 必修]	博士論文作成
		第3ターム			
		第2ターム			
		第1ターム			
	2年次	第4ターム	応用和漢医薬学 プログラム 専門科目 ・応用和漢医薬学特別研究	応用和漢医薬学 プログラム 専門科目 ・応用和漢医薬学特別演習	[2単位 必修] 大学院共通科目 ・学際融合発表演習Ⅰ ・学際融合発表演習Ⅱ
		第3ターム			
		第2ターム			
		第1ターム			
	1年次	第4ターム			[1単位 必修] 学環共通科目 ・先端研究企画演習
		第3ターム			
		第2ターム			
		第1ターム			

修了要件: 16単位以上修得及び博士論文試験・審査に合格

ディプロマ・ポリシーに掲げる身に付ける能力

● 基盤的能力

研究遂行に必要な最先端の認知・情動脳科学に関する豊かな学識と総合的な判断力を身に付けている。

■ 専門的学識

認知・情動脳科学関連領域で自立して研究活動を行う教育研究者、高度な業務に従事する専門職業人として必要な専門知識、技術を身に付けている。

◆ 倫理観

教育研究者として活動する上で必要な研究倫理や関連する法令の規範意識及び人間尊重の精神を身に付けている。

★ 創造力

豊かな専門知識、高度の技術を統合、応用して創造性の高い研究を遂行し、認知・情動脳科学関連領域の諸課題を解決するための豊かな学識、及び研究成果やその価値を説明、議論できる高度の能力を身に付けている。

配当年次 授業形態

講義・演習・実習

博士後期課程	3年次	第4ターム	[10単位 必修]	[2単位 必修]	博士論文作成
		第3ターム			
		第2ターム			
		第1ターム			
	2年次	第4ターム	認知・情動脳科学プログラム プログラム 専門科目 ・認知・情動脳科学特別研究	認知・情動脳科学プログラム プログラム 専門科目 ・認知・情動脳科学特別演習	[2単位 必修] 大学院共通科目 ・学際融合発表演習Ⅰ ・学際融合発表演習Ⅱ
		第3ターム			
		第2ターム			
		第1ターム			
	1年次	第4ターム			[1単位 必修] 学環共通科目 ・先端研究企画演習
		第3ターム			
		第2ターム			
		第1ターム			

修了要件: 16単位以上修得及び博士論文試験・審査に合格

ディプロマ・ポリシーに掲げる身に付ける能力

● 基盤的能力

研究分野における基本的な情報収集、論理的思考、情報発信ができる。英語論文の基本的な読解と解説ができる。研究内容について他者と基本的な議論ができる。

■ 専門的学識

専門分野の知識や論文内容について議論できる基本的な能力を身に付けている。専門分野の学会等において、情報収集、議論、情報発信ができる基本的な能力を身に付けている。

◆ 倫理観

研究不正について説明でき、研究倫理に関する基本的な規範意識を身に付けている。

★ 創造力

自身の研究成果をもとに、次の研究課題の設定と解決方法の考察ができる。

配当年次		授業形態	講義・演習・実習		
博士後期課程	3年次	第4ターム	[10単位 必修]	[2単位 必修]	博士論文作成
		第3ターム			
		第2ターム			
		第1ターム			
	2年次	第4ターム	メディカルデザインプログラム 専門科目	メディカルデザインプログラム 専門科目	[2単位 必修] 大学院共通科目 ・学際融合発表演習 I ・学際融合発表演習 II
		第3ターム			
		第2ターム	・メディカルデザイン特別研究	・医療制度と医療経営特論 ・メディカルデザイン特別演習	
		第1ターム			
	1年次	第4ターム			[1単位 以上] 学環共通科目
		第3ターム			
		第2ターム			
		第1ターム	■◆★	●■★	

修了要件: 16単位以上修得及び博士論文試験・審査に合格